

■はじめに

このコースは始めて技術士総合技術監理部門を受験の方が安心して合格できるよう、総監の5つの管理からその応用までを短期間に指導するものです。過去の不合格原因をフィードバックして考えますと、合格には総監技術の体得と専門家らしい技術応用および提案力を必要としています。このため総監技術者としてのコンピテンシーを高めるため、コーチングにより実務における総監技術の応用を最短時間で指導します。(なお、択一問題はについては本講座では指導を行いません。各自にて学習していただきます。)

■これまで総監試験で問題が解けず失敗した状況について

当研究所では受講者様が試験に失敗した状況を次のように分析しています。

1. 5つの管理のそれぞれの提案内容が、提案事項の数やレベルにおいて乏しいものであり、応用力まで到達しない。(知識が足りない)
2. トレードオフについて言葉は知っていたが、トレードオフの解決方法、つまり複数の管理を同時に満足する実践的な事例で応用することは難しい。
3. 問題の要求内容が変化したため、出題者の意図に対応して柔軟に考えることができず、結果として答案が書けなかった。
4. 択一問題の正解率が6割を割ってしまう。

■総監試験で多くの方が失敗している要因分析

受講者の敗因分析を行い、次の原因で多くの方が合格できないていることを突き止めました。

1. 総合技術管理の5つの管理の基本が十分に理解できていない。このため個々の手法を活用しようとしても使い方が思いつかない。
2. トレードオフ解決の考え方を練習していないため、実際どのような活動なのか、手法に慣れていないため対応できない
3. 問題要求が変化した場合の練習をせず、既出問題の解答を暗記しているだけなので柔軟に対応して、答案が書けない。
4. 青本を読み込んでいない。(読んでいれば択一は最低7割は得点できると思います。)

■本講座の指導方針

本講座では前述の不合格原因をすべて克服するため次の方針で対応します。

1. 5つの管理の手法を青本にて暗記していただきます。そして、各自の専門的な業務に応用する場合の方法を学んでいただきます。
2. トレードオフやリスクマネジメントについての対応手法を練習し、臨機応変に応用できるように体得する。

3. 年ごとの出題意図を分析し、最新の出題問題を予想して準備する。
4. 想定外の問題にも柔軟に対応できるよう、その都度問題意図の解釈を練習する。

※ 択一对策は別途市販の問題集を購入されて各自で対応願います。

■この講座での指導内容

またこの講座では次の3つの「柱」で指導します。

1. 総監テクニックの基本学習

5つの管理を適切に提案できるよう、各自の業務をベースとして論述練習する。

2. 過去問練習

過去2年分の問題を解いてみて、満点答案ができるまで添削コーチングします。

ここで学ぶことは、次のようなことです。

- ①答案の形式 章、細目の構成の仕方（テンプレートで論文構成を学びます）
- ②出題要求に対する的確な答え（出題者の意図を解説します）
- ③技術士にふさわしい回答姿勢（ご自分の業務にふさわしい独自性を出してもらいます）

3. 新問題対応演習

これまでの出題傾向、出題意図の変化について継続的に分析し、最新の出題問題を予想して演習を繰り返します。

問題ごとに問題意図を添削、コーチング指導します。

想定外の問題でも対処可能にしてもらいます。

■択一对策 個別学習としますので各自で行ってください。青本をよく暗記してください。

主要部分は丸暗記し、択一問題は100点を取れるようにしてください。

■課題一覧

	課題名	課題概要
1 基本演習	総監テクニックの基本学習	各自の業務に即した5つの管理を提案する
2 過去問演習	リスク対応手法練習	20年問題の解答練習
	不測の事態対応手法練習	21年問題の解答練習
	社会的状況の変化対応手法	22年問題の解答練習

	練習	
3 予想問題演習	<a href="#">リスクマネジメント問題</a>	5つの管理から2つを選んでリスクをあげると共にリスクマネジメント方法を検討する  ( <b>予想的中!</b> 2008年に出題されたため今は演習問題からはずしています)
	<a href="#">2007年問題(団塊世代技術継承)</a>	5つの管理から2つを選んで伝えるべきノウハウをあげると共に実施すべき対応を検討する
	<a href="#">環境経営</a>	5つの管理から3つを選んで環境負荷低減に向けてのあるべき判断と、実施すべき対応を検討する
	<a href="#">ヒアリハットマネジメント</a>	5つの管理から3つを選んでヒアリハット例をあげると共に対策を阻む原因を追究し、対策を検討する
	コーポレートガバナンス	コーポレート・ガバナンスを損なわせる恐れのある状況を想定し、課題と解決策を述べる。
	HACCP	HACCPの考え方を利用し、危害分析を行い、その危害を防止のための重要管理点を特定して対策を提案する。
	PDCA	業務の「見える化」を行うための指標、高精度な「C(チェック)」を行う上での課題と解決策、経営戦略への反映
	品質偽装	品質偽装が発生する可能性のある業務、解決策を推進する上での課題および対応策、品質偽装問題が発生した場合の対応方法

※2011年対策としてさらに新しい予想問題を用意します。

■本講座の上記以外の特長

- 面談、電話により、懇切丁寧に説明します。(書面だけの指導ではありません)
- 土日は終日、平日は夜間に相談できます。(忙しい方でも大丈夫です)
- 直接の連絡によりすばやく回答が得られます。(電話、メール、FAX。回数無制限。)
- 当研究所が提案する口頭試験指導が無料で受けられます。(2年度に限り)
- 筆記試験不合格の場合に翌年の受験指導を割引価格にて請けております。
- コーチングにより、最も効果の大きい改善を毎回指導しますので早く完成します。